

## 第3学年 英語科学習指導案

### 1 単元名 Lesson 4 Speech – A Man’s Life in Bhutan (TOTAL ENGLISH EDITION 3)

#### 2 単元について

##### (1) 教材観

本単元は「国際協力に貢献した日本人」というテーマでミクがスピーチをするという設定である。ミクが紹介する日本人は、ブータン王国で日本式の農業の普及に力を注いだ西岡京治である。西岡京治がブータンで行った活動や、現地の人々の西岡に対する気持ちの変化を具体的に説明する英文が時系列に並んでいる。生徒たちは、西岡京治やブータン王国に関しての知識や情報をほとんどもっていないことが予想される。今回、西岡京治やブータン王国について学ぶことによって、世界で活躍した日本人を知るとともに、国によって異なる多種多様な価値観があることに気付くだろうと思われる。

本単元を含むChapter 3では、「大切な人や尊敬する人について、まとまった文章が書けるようになること」が目標となっており、章末のプロジェクトゴールとして、既習の表現を用いて実際に自分の大切な人を紹介する英文を書く言語活動が設定されている。西岡京治の話は、プロジェクトゴールを達成するためのモデル文としても位置付けられている。

新出の言語材料としては、現在分詞(句)と過去分詞(句)を用いた後置修飾が登場する。現在分詞は、現在進行形(1年次)、過去分詞は、受動態(3年次)で履修している。しかし、名詞＋分詞の形は初めてであり、日本語と異なる語順であることから、理解に時間を要する生徒が多くいると考えられる。また、次の課で関係代名詞が登場するため、そのための準備としても、この課で文の構造をしっかりと押さえさせたい。

##### (2) 生徒観

授業中の様々な活動、特にペアでの会話活動に積極的に取り組み、良い授業の雰囲気を作ることができる。意欲的な生徒が多く、英語の授業が「好き」または「まあまあ好き」と回答した生徒は81.3%であった。しかし、英語の読解に焦点を当てると、英語で書かれてある文章を読むことを「苦手」または「少し苦手」と答えた生徒が68.8%と半数を上回り、その主な理由として、「特に多義語などの単語が分からない」や「文章を読んで自分が思っていた内容と実際の内容が違うときがある」などが挙げられた。以上のことから基礎・基本の定着を図った授業はもちろんのこと、4技能のうちのリーディング活動に何らかの対策が急務である。

##### (3) 指導観

3年次の最終ゴールは『わたしの人生』であり、中学校での英語学習で習得してきた様々な表現を使い、自分のこれまでの歩みとこれからの人生設計についてまとまりのある英文を書くことを設定している。本単元の西岡京治やLesson 5のStevie Wonderの伝記は、章末のプロジェクトゴールや最終ゴールのモデル文となる。ここでしっかりと読み取らせ、参考にさせることにより、プロジェクトゴールや最終ゴールを達成させることはもちろん、3種類の発問(事実発問・推論発問・評価発問)を工夫して行うことで教科書のモデル文を超えた深みのある内容を産出させたいと考える。

### 3 単元の目標

- (1) ペアワークやグループワークで間違いを恐れずに積極的に活動し、自分の考えを伝えようとする。
- (2) 自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書く。
- (3) 教科書の本文を聞いたり、読んだりして、その内容を把握する。
- (4) 現在分詞(句)や過去分詞(句)の後置修飾を用いて、人物や身の回りのものについて詳しく述べる。

### 4 評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
ペアワークやグループ ワーク, クラス全体の活 動で間違いを恐れずに 活動している。	自分の考えや気持ちなど を英語で正しく書くこと ができる。	教科書の本文を聞いた り, 読んだりして正しく 理解することができる。	現在分詞(句)や過去分 詞(句)の後置修飾の運 用についての知識を身 に付けている。

### 5 単元計画(全7時間 本時5/7)

時間	○ねらい ・学習活動	読みのプロセス (発問構成)	評価規準	評価方法
1	○本単元で身に付ける技能や構造, 大まかな内容を知る。 ○現在分詞(句)を用いた後置修飾の文の形・意味・用法を理解する。 ・現在分詞(句)を含む後置修飾を用いた文の構造を知る。 ・現在分詞(句)を含む後置修飾を用いて身近な人やものについて説明する。		エ ア	後日ペーパー テスト 行動観察
2	○過去分詞(句)を用いた後置修飾の文の形・意味・用法を理解する。 ・過去分詞(句)を含む後置修飾を用いた文の構造を知る。 ・過去分詞(句)を含む後置修飾を用いて身近な人やものについて説明する。		エ	後日ペーパー テスト 行動観察
3	○ask/tell/want+目的語+to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・ask/tell/want+目的語+to不定詞を用いた文の構造を知る。 ・ask/tell/want+目的語+to不定詞を用いて身近な人や身の回りのものについて説明する。		エ ↓	後日ペーパー テスト 行動観察
4	○教科書本文全体を読み, Mappingを行い, その内容について大まかに理解する。 ・西岡京治に関する Teacher Talk や QA を通して, 情報を整理する。 ・Mappingを見ながらペアで口頭による Reproduction を行う。	Pre-reading (背景知識の活性化のための発問)	ウ ア	ワークシート 行動観察
5	○教科書本文全体を読み, 西岡京治の人生のタイムラ	While-reading		

(本時)	<p>インを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで協力しながら西岡京治の人生のタイムラインを作る。</li> <li>・ペアで協力しながら西岡京治が日本で最初にどの職業に就いたか推測する。</li> <li>・グループで各ペアが作ったタイムラインを見せ合い、そのようになった根拠を説明する。</li> <li>・「ブータン人は西岡氏のことをどう思っていたか」という問いに、自分の意見やその根拠を書く。</li> </ul>	(事実発問 3 / 3) (推論発問 2 / 2)	ア  イ	行動観察  ワークシート
6	<p>○教科書本文を読み、もう一度 Mapping を行い、本文の <b>Reproduction</b> を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4時に作った Mapping に新しい情報を加えたり、修正したりする。</li> <li>・Mapping を参考に <b>Reproduction</b> を行い、更に西岡京治の生き方について自分の意見を加える。</li> </ul>		イ	ワークシート
7	<p>○「他人を助けるために何ができるか」という質問に3文以上の英文で答える。</p> <p>○「あなたにとって幸せとは?」という質問に5文以上の英文で答える。</p>	Post-reading (評価発問)	イ	ワークシート
後日	<p>&lt;ペーパーテスト&gt; ◇言語についての知識を問う問題</p>		エ	ペーパーテスト

## 6 検証の視点

- (1) 英語熟達度に課題が見られる生徒が本文内容を根拠として考えや気持ちを述べることができたか。
- (2) 発問構成とそれに伴う手立てが生徒の思考を促すのに有効であったか。
- (3) Teacher Talk が良質な Input となって生徒の Output として表出されたか。

## 7 本時の目標

ペアで間違いを恐れず意見を交換したり、答えの根拠を求めようと本文を何度も読み返したりしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)(4時～6時を通しての目標)

本文内容を根拠として、西岡京治の日本での職業やブータン人の彼に対する思いを推測し、自分の考えを書くことができる。(外国語表現の能力)

8 展開（**事実発問**・**推論発問**）

過程	学習内容及び学習活動	教師の指導・支援 ●活動が十分でない生徒への手立て	評価とその方法
導入	1 あいさつをする。		
	2 歌を歌う。	2 英語の音，リズムに慣れさせ，雰囲気を作る。	
展開	3 本時の活動の内容を知る。	3 本時の活動について説明をする。	
	めあて：西岡京治の生き方にコメントしよう！		
	4 Lesson 4の本文全体を音読する。	4 Lesson 4 全体の話の流れをつかませる。	
	5 Lesson 4 Aに関する事実発問に答える。	5 電子黒板を用いて，本文(4 A)に関する発問の答えとその根拠を言わせる。	
	6 Timeline Making①	6-1 本文(4 B・4 C)を参考に西岡京治のタイムラインを作成させる。 6-2 ペアでお互いのタイムラインを確認させ，異なるところがあれば話し合い，修正させる。 6-3 書画カメラを用いて，タイムラインの答え合わせをする。	ア ペアワークやグループワーク，クラス全体の活動で間違いを恐れずに活動している。(行動観察)
	7 Timeline Making②	7 インタラクションの中で推論発問（西岡京治の日本での職業を考える）を行う。	
	8 推論発問に答える。	8-1 “What do you think of Nishioka Keiji?”という質問をペアで出し合い，答えさせる。 8-2 “What do you think of Nishioka Keiji?”という質問に対する答えを英語で書かせる。	イ ブータン人として西岡京治についてどう思うかを意見・コメント・事実・根拠等を盛り込んで書くことができる。(ワークシート)
9 Sharing	9 自分が書いた英文をグループで発表し合い，考えを共有させる。		
まとめ	10 次時の学習内容を知る。	10 次時の学習内容を確認し，準備を促す。	

## 9 本時の評価

評価規準	<p>ペアで間違いを恐れず意見を交換したり，答えの根拠を求めようと本文を何度も読み返したりしている。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）</p> <p>ブータン人として西岡京治についてどう思うかという推論発問に対して，本文内容を参考に自分の考えを書くことができる。（外国語表現の能力）</p>		
判断する目安 （判定基準）	<p>十分満足できる状況(A)</p> <p>自分から進んで意見を伝えたり，本文の中に根拠を求めて何度も読み返したりしている。</p> <p>西岡京治についての推論発問に対し，本文内容を根拠とした自分の考えと自身に関連付けた内容を書いている。</p>	<p>おおむね満足できる状況(B)</p> <p>自分の意見を伝えたり，本文の中に根拠を求めて何度も読み返したりしている。</p> <p>西岡京治についての推論発問に対し，本文内容を根拠とした自分の考えを書いている。</p>	<p>努力を要する状況(C)</p> <p>(B)に達していない記述</p>
→(B)，(C) と判断した 生徒への支援		<p>→ペアでの意見交換を促したり，辞書を用いたりするように指示する。</p>	<p>→本文やタイムラインを読み返し，キーセンテンスを見付けるように指示する。</p>
評価方法	ワークシートの記述及び観察		